

梅雨の季節がやってきます

～大雨災害に備えましょう～

梅雨とは、季節が春から夏に移る間の、特に曇りや雨の多い時期のことを言います。沖縄地方は、平年では5月9日頃に梅雨入りを迎え、6月23日頃まで40日以上梅雨となります。この期間が二十四節気の「小満」と「芒種」にあたることから、沖縄では梅雨を「スーマンボースー」と呼んでいます。

梅雨期は、**積乱雲により局地的な大雨や集中豪雨**の発生が多くなります。低い土地での浸水や傾斜地での崖崩れに警戒が必要です。また、落雷や突風、竜巻などにも注意が必要です。

※[昭和26年\(1951年\)以降の梅雨入りと梅雨明け\(沖縄\)](#) ←クリック

積乱雲には気をつけて！



こんな変化を感じたら、それは積乱雲(入道雲)が近づいてくるしるしです。まもなく、激しい雨と雷がやって来ます。たつまきがおそってくるかもしれません。



真っ黒い雲が近づいてきた



雷の音が聞こえてきた



急につめたい風が吹いてきた

すぐに危険な場所からはなれ、安全な場所にひなんしましょう！



まよっている時間はありません。「自分は大いじょうぶ!」「恥ずかしい!」という気持ちはすてて、すぐに危険な場所からはなれましょう。お父さんやお母さんにも声をかけて!



激しい雨の中を歩くのは危険。しばらく雨宿りを!



しばらくの間、じょうぶな建物の中で、身を守りましょう。



雷が落ちたり、突風でゴールが吹き飛ばされたりします。建物の中に入って!



あっという間に水かさが増え、流れが激しくなります。川のそばからはなれて!



木に落ちた雷で感電することがあります。木のそばからはなれて!

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先: 宮古島地方気象台防災業務課 TEL: 0980-72-3054 (平日のみ/8:30~17:15)